

助産雑誌 Back Number

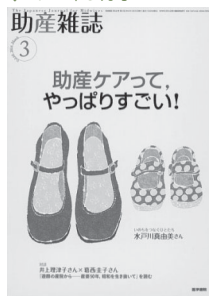
◆2014年4月号



特集 多胎の支援 妊娠中から育児まで

とてもたいへんな多胎の育児。産後うつや虐待予防の観点から取り組みが進められていますが、十分に支援が行き届いているとはいえません。本特集では、保健指導からグループづくり支援まで、妊娠中から育児期を通した助産師のかかりについて取り上げます。

◆2014年3月号



特集 助産ケアって、 やっぱりすごい!

妊娠中の助産師のかかりかたによって、妊婦さんのリスクや、分娩の結果が変化するようです。助産所分娩と病院分娩を比較したデータを紹介し、育児への影響も見据えつつ、現在語ることのできる範囲内で助産師のかかりの効果を明らかにすることを目指します。

◆2014年2月号



特集 帝王切開のお産を ケアしよう

帝王切開を希望する人がいる一方で、経陰分娩ができなかったことで何年も悩みを抱える母親もいます。帝王切開率が19%のいま、帝王切開を単なる医療処置ではなく1つのお産と捉え、母親と赤ちゃんのために助産師だからこそできるケアを本特集で考えてみます。

◆2014年1月号



特集 HTLV-1 と 母乳育児

妊娠をきっかけにHTLV-1キャリアであることが判明した女性は、驚きとともに、恐れや不安など、多くの悩みを抱えます。本特集では、とくに栄養方法の選択を中心に、HTLV-1キャリアの女性を支えるために助産師が知っておきたい知識を解説しました。

◆2013年12月号



特集 産科超音波を よんでみよう

助産外来を行なう施設が増え、お母さんたちのニーズも高まるなか、超音波検査を助産師が実施している施設は少なくありません。本特集では、自信をもって超音波検査を実施できるように、基本をまとめ、画像を見るときのポイントをおさえます。

◆2013年11月号



懸賞論文 「私を変えたお産」 受賞作発表

小誌初めての懸賞論文の受賞作発表です。助産師さんからよりも、産んだ女性からの応募が多かったのが新鮮な驚きでした。読みごたえのある多くの物語から入賞作を選ぶことはとても難しい作業でしたが、8作の「私を変えたお産」を発表いたします。

◆2013年 10月号

特集

産後ケアを始めましょう

9月号

高齢妊娠・出産を支える

8月号

実習、どうしていますか? 臨床・教育それぞれの立場から

7月号

いま知りたい! 母子感染対策 トキソプラズマ、サイトメガロウイルスを中心に

6月号

予防接種の最新知識 2013

5月号

女性と出生前診断 助産師の役割

4月号

“なんだか気になる妊婦さん”への対応

バックナンバーのお取り扱いについて

① 2012年5月号以降の雑誌は、メッドブック(TEL:03-3817-5666)にて承ります。

② それ以前のものについてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック 〒171-0014 東京都豊島区池袋4-13-4 TEL:03-3985-4701 FAX:03-3985-4703